



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111（内線4650～4654）
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

生活保護をめぐる対決

区議会を区民の願いで動かす

日本共産党



「適正化」という強化とのたたかい

いま安倍内閣のもとで社会保障改悪がすすめられ、生活保護の削減問題が大きな焦点となっています。

年収200万円以下のワーキングプアが6年連続で1000万人を超えるなど貧困問題が深刻化するなか、4月に厚生労働省は全国の生活保護受給者が1月時点で215万

3642人となり、9か月連続で過去最高を更新し、受給世帯数も157万2966世帯で過去最多となったと発表しました。

政府は「生活保護費の増加が財政を圧迫している」として、「不正受給」問題を利用したパッシングと「適正化」の名による抑制を強め、生活保護費10%削減と生活保護制度の改悪を推し進めています。

こうした国の動きとパッシングを強める自公勢力などの攻撃に呼応した、自治体の「適正化」による給付抑制と削減計画の動きも激しくなっています。

足立区議会では、生活保護「適正化」のための特別委員会、「生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会」が、自民党の提案で昨年から



設置されました。今年度も継続することになり、自民党など与党は「不正受給」「医療扶助」「外国人の受給」をやり玉に挙げてきました。

区は、生活保護者の生活に対する通報制度や警察と連携し告発などの監視を強め、区内警察署の組織犯罪担当課長も加わった「生活保護適正化実施連絡会」が要綱設置され、第1回定例区議会で「協議会」にする条例が提案されました。

この条例に対し、日本共産党区議団は「協議会」に警察を入れないことや、事前に「不正」を起こさない支援、生存権を守ることを論戦で確認し、賛成しました。

また福祉事務所での生保申請者に対する「重要事項の説明・確認書」で生保受給後の住居変更届や収入申告義務とともに、「不正」があれば「懲役など罰則を受けることも」明記し強調しています。

知らせしたように、生活保護制度を「見直し」と言っているのは、生活保護だけではなく最低賃金、老齢基礎年金、住民税の課税基準、国保保険料と医療の減免制度、公営住宅家賃の減免制度、義務教育の就学援助、保育料や学費費用、入院助産産の費用など、国民生活全体にかけられた攻撃となっており、いま権利を守るたたかいが広がっています。

「教育次長」問題で管理統制の撤回求める

区は、今年度から教育次長制度の組織を新設し、学力と幼児教育担当2課を設置する



は、一般行政事務とは明確に区別された指導主事の職務となっており、教員でないOB校長らが区教委の行政職員として授業内容を指導することは、指導主事の指導援助を越えて現場を直接監督するものと危惧される。「指導主事は戦前の『視学』制度（旧制の地方教

OB校長らが区立小・中学校107校を分担し、区や教育委員会の方針を徹底させる個別指導を強化するとしました。日本共産党区議団は「学校における教育課程、学習指導

など専門的事項に関する事務」を「視学」制度（旧制の地方教育行政官）を拒否して設けられたもの。戦前の視学が教育内容と人事、身分を行政機関が権力的に監督したのに対し、指導主事は助言と指導を与え、専門職として位置づけ、学校教育に対する教育委員会の助言や指導はこの法制度の趣旨に照らし行わなければならない。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律19条の規定に抵触する」また「各学校の授業現場に介入する必要があるのか」の批判の声も紹介し、競争教育の押しつけだと撤回を求めました。

日本共産党の議会論戦から

学校は地域の宝 統廃合計画をやめよ



足立区の教育委員会は、2009年5月に小・中学校33校を対象に統廃合する『ガイドライン』を決定し、これにもとづいた学校統廃合を進めています。最大の理由は、「建て替えにお金がかかる」「基金は300億円（当時）1校当たり25億円かかるので統廃合しないと賄（まかな）いきれない」と言っていました。

しかし、学校は地域の宝であり、災害時の拠点となるものです。足立区は今でも避難所が4万人分不足しています。区は、議会の答弁で人口減などを理由に学校統廃合計画

を推し進めています。日本共産党足立区議団は区の人口が少なくなる2035年まで維持すること、地域によっては大規模マンション建設や鉄道の新路線開業で局所的に人口増が起りえること、千寿第五小学校では地元の3町会長名の嘆願書がだされ、地元の理解がまったく得られていないのに、区教委の「常軌を逸した異常なやり方」を指摘し、見直しを求めてきました。

第1回定例会でも、「小学校と中学校を統合した新田小中一貫校は、指摘したとおり、地域の人口急増に耐えられず、教室不足となり、新校舎に50億円を要したこと。同じく統廃合した千寿小学校は、児童数の増で教室不足により改築を繰り返し」「目先の経費節減に走った統廃合は、子どもの教育環境を低下させるうえで、かえって税金の無駄づかいになり、非効率」と批判しました。

区の40人学級を前提とした統廃合を見直し、少人数学級の実現を踏ま

質問—増税、改憲すすめる政党ばかりですが、日本共産党と言う名前が何となくイメージが悪いのではないの？（保木間・Sさん）

答え—国民の多くは増税も改憲も望んでいないのに、それをすすめようとしている政党ばかりがめだつ政治の世界です。国会や都議会で消費税ノー、平和憲法守れの声をしっかり届けることができる日本共産党の議席が今こそ必要ではないでしょうか。



「何となくイメージが悪い」というのは、偏見なく澄んだ目でよく見ていただければそんなことはないと思います。

戦前から戦争反対、平和と民主主義、国民生活向上をかけた命がけでたたかってきた91年の歴史で試された、どんな困難があってもスジを通しつづける日本共産党です。戦前、戦後も現在も、時の政権がイメージ悪く描いて、宣伝されてきたからかも知れませんが、日本共産党はすべての人が人間らしく、自由に生きられる民主的な社会、未来社会をめざす名前なのです。（伊藤和彦）



写真は足立区ボランティアまつり会場
足立区役所内にて 5月11日

えて環境整備を図ることを求める議会論戦を展開しました。（伊藤和彦）

伊藤ニュース・1000号おめでとう



「こんにちは伊藤和彦です」ニュース1000号になったことを知り、本当におめでとうございます。会社勤めしていたの時に、伊藤さんが竹ノ塚駅で「おはようございます」と毎日朝早くから立っています。お体を大切にがんばってください。おめでとうござい

「継続は力」です。自分は伊藤区議さんの姿に励まされてきました。

たことを知っています。他の政党の方もやりだしましたが一日ですぐに終わってしまいました。演説や挨拶をつづけることは大切で

（西尾保間・Mさん）

まちかど演説

5月25日（土）
午前10時10分サミット

保木間店

- 10:40 花畑団地・フジヤ洋品店
- 11:10 イトーヨーカドー竹の塚店

